#### 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	基礎数学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	長谷川 優 実務経	産業技術短期大学で基礎数学科目のティーチングアシスタント、ならびに放課後補 習の担当経験あり。			

# 《授業科目における学習内容》

高校数学Iレベルを出発点にして臨床工学で必要な数学の基礎を身につける。

### 《成績評価の方法と基準》

中間試験と期末試験にて記述試験を行う。その平均点評価:70%。 出席評価:20%。 宿題への取り組みなどによる平常評価:10%。

## 《使用教材(教科書)及び参考図書》

主:これだけはおさえたい理工系の基礎数学

副:配布プリント

### 《授業外における学習方法》

毎回、授業の中で指定する宿題に必ず取り組むこと。わからない所をはっきりと把握し、放置せずに放課後などに担当教員 に質問すること。

### 《履修に当たっての留意点》

高校までの試験のための数学でなく、専門科目を学ぶための数学であることを意識して取り組むこと。

	業の 法		内 容		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	関数の一般的な定義と性質を理解する。		
	興習形式	各コマに おける 授業予定	実数、関数の定義、関数のグラフ、平行移動、偶関数・奇関数、 逆関数、合成関数	教科書	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	代表的な角度の三角関数の値と基本公式を理解し、使えるよう になる。		前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
2 回	演習形式	各コマに おける 授業予定	弧度法、三角関数の定義、三角関数の基本公式	教科書	
第 3 回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	三角関数のグラフかけ、加法定理からのいろいろな公式を導く。		前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
		各コマに おける 授業予定	三角関数のグラフ、三角関数の加法定理、三角関数の合成	教科書	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	関数~三角関数の分野の総復習を行い、計算ができるようになる。		前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
4	演習形式	各コマに おける 授業予定	中間試験1(国家試験、ME2種試験内容も含む)	教科書	
第 5 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	指数法則を使った計算ができるようになる。		前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
	<b>漢習形式</b>	各コマに おける 授業予定	指数法則、累乗根、指数関数	教科書	

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	対数の計算、逆三角関数の定義とグラフを理解する。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
6 回	習形式	各コマに おける 授業予定	逆関数、対数関数、逆三角関数	<b>WITE</b>	
第 7 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	複素数の絶対値と偏角、複素数の四則計算ができるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
	習形式	各コマに おける 授業予定	複素数の絶対値と偏角、複素数の加減乗除	<b>松</b> (17] 目	
第 8 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	複素数の絶対値と偏角、複素数の四則計算ができるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
	個習形式	各コマに おける 授業予定	オイラーの公式、極形式、直交座標と極座標	秋竹首	
第 9 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	指数・対数・複素数分野の総復習を行い、計算ができるようにな る。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
	習形式	各コマに おける 授業予定	中間試験2(国家試験、ME2種試験内容も含む)	3/11 E	
第 10 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	極限値の概念を理解し、単純な関数の極限値を求めることができるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
	習形式	各コマに おける 授業予定	極限値、不定形、自然対数の底e	<b>狄</b> 什亩	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	微分の定義と幾何学的な意味を理解し、基本的な関数の微分 ができるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
11	習形式	各コマに おける 授業予定	導関数の定義と意味,基本的な関数の導関数	<b>纵付</b> 盲	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	微分の定義と幾何学的な意味を理解し、基本的な関数の微分 ができるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
12回	習形式	各コマに おける 授業予定	微分の線形性、積の微分、商の微分	<b>松</b> (1) 目	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	複雑な関数の微分を計算できるようにする。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確にしておく。
13	習形式	各コマに おける 授業予定	合成関数の微分、高次導関数	<b>松</b> (1) 目	
第	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	多変数の関数と偏微分の計算ができるようになる。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
14		各コマに おける 授業予定	多変数の関数と偏微分、高次導関数の計算	·坎什百	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	本授業の内容の理解を確実にし、様々な計算ができる。	教科書	前回指定した宿題に取り組み、疑問点を明確に しておく。
15 回	<b>興習形式</b>	各コマに おける 授業予定	前期の総復習	·坎仆丁百	